

# 調布市消防団 広報誌

# CVFVB

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE



平成30年(2018年)1月14日 通刊第9号 発行/調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348

第9号



## CONTENTS

第2分団紹介&インタビュー	P2
第20回調布市消防団ポンプ操法大会	P3
東京都・調布市合同総合防災訓練の実施	P3
平成30年 行事予定	P4
東京消防庁第八消防方面・調布市合同総合水防訓練の実施	P4
東京都消防褒賞を受賞しました	P4

調布市消防団は、本団及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。  
団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜訓練・活動に取り組んでいます。

結ぶに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。とともに、皆様の今年一年が、より佳き年になるよう心よりご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



## 調布市消防団長 永易正敏

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

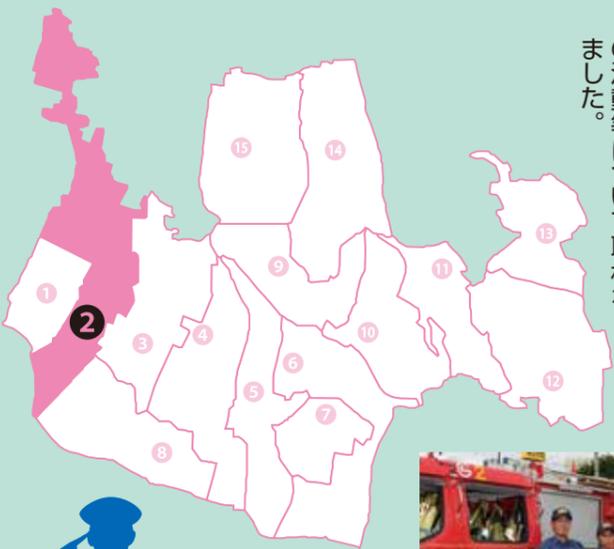
さて、昨年においては、7月1日に第20回調布市消防団ポンプ操法大会を開催致しました。春先より訓練を重ね、各分団とも規律、技術において大変素晴らしい内容の大会でありました。

また、優勝した第7分団は、10月21日に行われた第47回東京都消防操法大会に出場し、調布市消防団の名に恥じぬ、素晴らしい演技を披露してくれました。これもひとえに、各分団の日頃からの訓練の賜物であり、災害が発生した際には、迅速に対応できるように、知識技能により一層磨きをかけた成果であります。さらに、平成29年は東京都調布市合同総合防災訓練に参加し、災害発生時の連携体制の強化に努めました。

第2分団紹介&インタビュー

調布市の各地域を担当する分団の紹介&インタビューです。前号から1個分団ずつ、活動中の写真と消防団員の皆さんのインタビューにより紹介していきます。

第2分団は上石原全域、野水全域、多摩川1・2丁目、西町、多摩川河川敷の各部を担当地域としています。第2分団の皆さんに、入団したきっかけや、日々の活動等について取材をしました。



部長 秋輪 努さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 父が消防団員だったこともあり、声かけをしてもらいました。同期が多かったこともあり、不安もなく入団できました

Q: 日々の訓練(操法訓練等)、機械器具点検について教えてください

A 火災現場での放水方法や器具の適切な使用方法などを取得するため、日々訓練を行っています。機械器具点検は、動作確認やポンプ車の積載品の不備がないかなどの確認を毎月行っています。

Q: 消防団の魅力ややりがいについて教えてください。

A 地域との関わりが強くなり、いい先輩や仲間と巡り会えるのが魅力だと思います。仲間意識が芽生え、地元愛がさらに強くなりました。

Q: 消防団の活動の中で印象に残っていることはありますか

A 平成27年7月の小型飛行機墜落事故です。バーンという音からすぐに黒煙が見えたので、急いで現場に向かいました。猛暑の中の壮絶な活動でした。



防災訓練



操法大会



団員 高橋 範臣さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 既に入団していた友人から誘われ入団しました。当時は消防団の活動について良く分かっていませんでしたが、「楽しいから」と言われ入団しました。その言葉は間違っていないかと思っています。

Q: 消防団の活動について教えてください

A 火災時の出動はもちろんですが、操法訓練や機械器具の点検、震災や水害等の各種訓練、春秋年末の火災予防運動での警戒活動、地元のお祭りでの警備警戒等、活動は多岐にわたります。

Q: 日々の消防団活動をどのように感じていますか

A 昼夜を問わない火災出動、仕事終わりや休日に行われる訓練等、大変だと感じることはありますが、良い仲間や地元の方々に支えられ、責任感とともにやり甲斐を感じながら楽しく活動できています。

Q: 消防団の活動の中で印象に残っていることはありますか

A 平成27年7月に発生した調布飛行場の小型飛行機墜落事故での消火活動です。当日は非常に気温が高く、消火活動も長時間に及び、私が経験した中で一番過酷な火災現場でした。そんな中でも地元の方々やOBの方々に飲み物の差し入れをいただく等、消火活動を支えていただきました。日頃の活動を通じて培った地域を含めた団結力で、被害を最小限に留めることができたかと確信しています。



分団長 高橋 慎二郎さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 父が消防団に入っていたのをきっかけに当時の分団長に誘われました。消防団ってピンと来なかったのですが熱意のすごさにひかれ入団しました。

Q: 消防団として、地域での活動を教えてください

A 消火活動をはじめ、地元地域の防災訓練、盆踊り、祭りの警備などです。機関員の技術向上を目的とした、放水訓練も実施しています。また、調布飛行場が近いこともあり、年に1回調布消防署と連携して訓練をしています。冬の雪が積もった時は消火栓の確認をしながら消火栓の除雪などを行っています。

Q: 消防団に入団して、御自身に変化はありましたか

A 消防団に入っていないと、こんなに多くの地元の人たちと知り合えなかったと思います。地元を歩けば、以前では素通りだったところも、一言挨拶をされるようになるなど、地元意識が高くなりました。また、普段何気なく歩いたりしていても、消火栓を見失うなど消防に対する意識が変わりました。1番の変化といえば、入団当初は、今日は面倒くさいから出なくていいやと言う気持ちから、仕事の忙しい時でも少しでもいいから出ようと言う気持ちの変化だと思います。

Q: 地域、そして市民のみなさんにどんなことを伝えたいですか

A 生まれてずっとこの街に住んでいましたが、入団するまで消防団のことを全然知りませんでした。分団小屋の点検、いつ起こるかわからない火災、休日の訓練等、何かと大変と感じることはありますが、消防団、地元の仲間が、地域を守るという責任感とともにやり甲斐のある活動であると思います。そして何より消防の仲間は職業の異なる集団なので、考え方もそれぞれで教えることもあれば教わることもあり、色々学ぶことができ、これまでにない素晴らしい体験ができると思います。みなさんもぜひ消防団に参加してください。

消防団の特徴とは？

消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて研鑽を行っています。消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。

① 消防団員は、生業を営みながら活動しています。

消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

② 消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。

消防団員は、基本操法訓練、総合防災訓練、震災消防訓練、総合水防訓練、文化財防火演習など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。

③ 消防団は、地域に密着した活動をしています。

消防団は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、逸早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。



平成29年度本部役員及び第1～15分団長 (調布消防署長、調布市長らとともに)

## 第20回

# 調布市消防団ポンプ操法大会

平成29年7月1日(於・消防大学校)

調布市消防団では2年に1度、調布市消防団ポンプ操法大会を実施しています。操法とは、ポンプ車の操作や器具操作、消防活動の基礎となる連の動作を言います。今大会では、調布市消防団全15個分団が、操作開始から放水による「火点」と呼ばれる標的を倒すまでのタイムや動作の正確性、規律を競い合いました。操法の訓練とは、消火までの速さと正確さを高め、いざという時の火災に対する対応能力の向上を図るための、重要な訓練といえます。



### 1.開会式～選手宣誓

全分団が整列し、消防団長に選手宣誓を行いました。本大会では第9分団川端宏志分団長が行いました。



開会式の様子



第9分団川端分団長による選手宣誓



団旗及び表彰旗

### 2.操法開始～消防ポンプ車乗車

指揮者が副団長に開始報告を行い操法が開始されます。指揮者の指示により、整列していた隊員が、正確かつ迅速な動作で消防ポンプ車に乗車します。



整列待機。



副団長に開始報告



いざ! 開始

### 3.消防ポンプ車下車～吸水

火災現場に到着したことを想定し、消防ポンプ車から下車します。放水のため、吸水管を水槽に投入し、水利を確保します。



放水の準備



水利確保のため吸水管を伸ばす



水槽に吸水管を投入する

### 4.ホース延長～放水待機

隊員がホースを担いで、火点までホースを伸ばします。ポンプ車から1線ホースを延長し、火点に向かって放水します。その後もう1本ホースを延長し、合計2線でそれぞれの火点めがけて放水をします。



ホースを担ぎ全力疾走



ホースを連結し延長を行う



迅速に放水位置まで向かう



放水待機の姿勢で指示を待つ

### 5.放水～収納

水圧に負けないようにしっかりと構え、火点めがけて放水をします。火点を倒した後は管鎗(かんそう)\*と呼ばれる器具を取り外します。操法大会では放水後の収納動作も重要な事項です。 \*管鎗…放水時に使う筒先のこと。



放水の様子



標的に命中



収納も規律厳正に行う



### 6.表彰式

全15個分団の操法が終わり、タイムと動作の正確性、規律等の項目で特に秀でた上位5個分団が表彰されました。今回は第7分団(榎本陽介分団長)が見事優勝を果たしました。



優勝した第7分団



盾の授与



表彰状の授与

順位	
優勝	第7分団
第2位	第15分団
第3位	第6分団
第4位	第9分団
第5位	第5分団

## 東京都・調布市合同総合防災訓練

平成29年9月3日(於・多摩川河川敷)

9月3日(日)に多摩川左岸河川敷で東京都・調布市合同総合防災訓練を実施しました。訓練は、震災に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域の互助精神の高揚と防災行動力の向上を図るとともに、防災関係機関との連携を強化し、災害時の迅速な応急活動態勢を整えることを目的に実施しています。



延焼建物消火活動



一斉放水の様子

平成30年の主な予定

- 1月14日 出初式
- 1月26日 文化財防火演習
- 2月4日 消防ポンプ車操縦技能講習会
- 3月1日 機械器具特別点検
- 3月1～7日 春の火災予防運動・警戒
- 4月2日 新入団員等任命式
- 4月末日 機関員訓練・規律訓練
- 5月中旬 基本操法訓練
- 9月下旬 総合水防訓練
- 10月中旬 北多摩地区消防大会
- 10月中旬 総合防災訓練
- 11月9～15日 秋の火災予防運動・警戒
- 11月中旬 震災消防訓練
- 12月下旬 歳末特別警戒



そのほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。  
 (予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)

東京消防庁第八消防方面・調布市合同総合水防訓練の実施



住宅浸水防止工法の様子

平成29年5月13日(土)に集中豪雨に伴う水害や台風による河川の氾濫等を想定し、実践的な水防活動技術の習得、水防関係機関等との連携要領、水防部隊の機動的な運営を行い、水災による被害の軽減を図るために、東京消防庁第八消防方面・調布市合同総合水防訓練を実施しました。



土のう作成の訓練

藍綬褒章受章



平成29年5月16日に、調布市消防団永易団長がスクワール麹町「錦華の間」にて、藍綬褒章を受賞しました。この表彰は、消防団長として多年消防の発展に努めたその功績を称え、賞されるものです。

東京都消防褒賞受賞



二十九年度  
 京都消防褒賞贈呈式

平成29年11月8日に、調布市消防団第一分団高花分団長が東京都庁第一本庁舎5階大会議場にて、東京都消防褒賞を受賞しました。この表彰は、長年にわたり研鑽を重ねた消防団および消防団員の功労を称え、東京都知事から賞されるものです。

防災・安全情報メールに登録を!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ ●気象情報
- 地震情報 ●災害情報 ●防犯情報

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

**c-bousai@sg-m.jp**



問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346

地震だ! してますか? 家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大きな地震で怪我をした原因を調べると、約3割から5割が、家具類の転倒・転落・移動によるものでした。家具類の転倒・転落・移動は、避難通路を塞ぎ、火災を引き起こす原因にもなります。大切な家族を守るため、対策を行いましょう。詳しくは、東京消防庁のホームページをご覧ください。お問い合わせ：調布消防署 ☎042-486-0119



東京消防 検索

東京消防庁

消防団員募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!



お問い合わせ

調布市消防団事務局  
 (調布市役所総合防災安全課内)

☎042-481-7348

入団資格

調布市に居住又は勤務しており、年齢18歳以上の健康な方